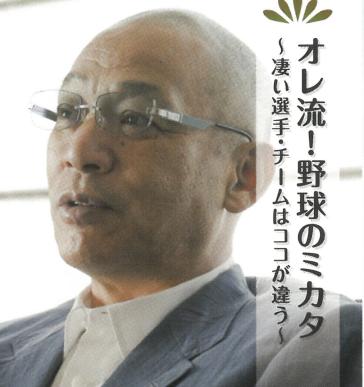


違うを尊ぶって、  
どういうこと?  
～多様性は半径2メートルから～



元プロ野球選手、元プロ野球監督  
**落合 博満さん**

[第1回] 4.20(日)



産婦人科専門医、タレント  
**丸田 佳奈さん**

[第2回] 4.26(土)



教育評論家  
**尾木 直樹さん**

[第3回] 5.31(土)



エッセイスト、メディアパーソナリティ  
**小島 慶子さん**

[第4回] 6.23(月)



私の取材ノートから

ジャーナリスト  
**江川 紹子さん**

[第5回] 7.19(土)

〈特別協賛〉

野口観光

令和7年度 札幌 HBC

# 北海道文化塾

10人の多彩な視点と知識が集結。  
エキスパートから学ぶ特別な90分。



元衆議院議員  
**杉村 太蔵さん**

[第6回] 8.9(土)

人生何が起きるか  
わからない  
～太蔵流チャンスをつかむ技術～



笑顔が見たいから!

演出家、劇作家、女優  
**渡辺えりさん**

[第7回] 8.30(土)



作家  
**原田 マハさん**

[第8回] 10.25(土)



99.9%は仮説  
～宇宙誕生から人工知能まで～

サイエンス作家  
**竹内 薫さん**

[第9回] 11.8(土)



漫画家、エッセイスト  
**やくみつるさん**

[第10回] 11.22(土)

2025年を  
流行語で振り返る

## 会場 カナモトホール [札幌市民ホール]

札幌市中央区  
北1条西1丁目

講演時間 14:00~15:30

受講料 23,000円 (内訳 入塾金 2,000円+ 受講料 21,000円)

※途中退塾による受講費用の返金は行いません。(消費税含)  
※継続生は入塾金不要…受講料21,000円のみ

2月25日(火)より受講受付開始!  
お申し込みは電話またはホームページにて!

011-222-2650 申込受付時間  
10:00~16:00  
(土・日・祝除く)

※4月21日以降のお問合せ・お申込は » HBC事業部 011-232-2315

ホームペジ 北海道文化塾 検索

## 第1回

落合  
ひろみ  
さん

1953年生まれ。秋田県出身。1979年ドラフト3位でロッテ入団。81年から83年まで3年連続首位打者。82年史上最年少28歳で三冠王を獲得、85年には2度目の三冠王とパ・リーグの最優秀選手(MVP)に輝いた。86年には史上初の3度目、2年連続の三冠王を獲得。1998年現役を引退。その後、野球解説者、指導者として活動し、2004年より中日ドラゴンズ監督に就任。2007年にはチームを53年ぶりの日本一に導く。就任から8年間、2年に1回以上はリーグ優勝ないしは日本一、Aクラス入りを逃したこともない。2011年は球団史上初の2年連続リーグ優勝を果たし、「常勝チーム」を作り上げた。2007年には、プロ野球の発展に大きく貢献した人物に贈られる正力松太郎賞を受賞。2011年には競技者として、日本の野球の発展に大きく貢献した功績を永久に讃え、顕彰する「野球殿堂」入りを果たす。

## 第3回

尾木  
直樹  
さん

1947年滋賀県生まれ。早稲田大学卒業後、私立海城高校、東京都公立中学校教師として、22年間ユニークで創造的な教育実践を展開。その後22年間大学教育に携わる。2004年に法政大学キャリアデザイン学部教授に就任。2012年4月同大学教職課程センター長・教授。定年退官後、現在は法政大学名誉教授。NHK Eテレ「ウワサの保護者会」では長年MCとして活躍し、現在はフジテレビ「めざまし8」・日本テレビ「真相報道バンキシャ!」・NHK「ラジオ深夜便」などの多数の情報・バラエティ・教養番組にも出演。「尾木ママ」の愛称で幼児からお年寄りにまで親しまれている。2023年4月東京都立図書館名譽館長に就任。

## 第5回

江川  
紹子  
さん

1958年東京都生まれ。1982年早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。神奈川新聞社入社。1987年同社を退社、以後フリー。1995年菊池賞受賞。1996年編集者が選ぶ雑誌ジャーナリズム賞受賞。2011年編集者が選ぶ雑誌ジャーナリズム賞受賞。国際情勢や国内の社会問題、教育問題、人権・平和等に関して、精力的に取材・執筆。近年では、災害、カルト問題のほか、プレサンス事件や袴田事件などの冤罪事件・裁判記録の保存など司法を巡る様々な問題を追及。2020年から神奈川大学特任教授。

## 第7回

渡辺  
えり  
さん

1955年1月5日生まれ。山形県出身 O型。1978年、「劇団300」を旗揚げ。作、演出、出演の三役をこなす。劇団解散後の現在はおふいす300主宰として、様々な役者やクリエイターとプロデュース公演を行っている。1983年NHK連続テレビ小説「おしん」で話題になり、以降テレビでひっぱりだこになる。2007年、美輪明宏の助言で芸名を「渡辺えり」に変更。1983年「ゲゲゲのゲ」で岸田國士戯曲賞受賞。1995年「忠臣蔵外伝 四谷怪談」で日本アカデミー賞優秀助演女優賞受賞。1997年「Shall we ダンス?」日本アカデミー賞優秀助演女優賞受賞。

## 第9回

竹内  
内ち  
薰  
さん

1960年7月2日東京生まれ。東京大学教養学部教養学科(専攻、科学史・科学哲学)・東京大学理学部物理学科卒業。マギル大学大学院博士課程修了(専攻、高エネルギー物理学理論)。理学博士(Ph.D.)。大学院を修了後、サイエンス作家として活動。物理学の解説書や科学評論を中心に200冊あまりの著作物を発刊。2006年には『99.9%は仮説~思い込みで判断しないための考え方』(光文社新書)を出版し、40万部を越えるベストセラーとなる。物理、数学、脳、宇宙、AIなど幅広い科学ジャンルで発信を続け、執筆だけでなく、テレビ、ラジオ、講演など精力的に活動している。2016年春からは小学校レベルの民間学校「YESインターナショナル」代表も務める。

## 第2回

丸田  
佳奈  
さん

1981年、北海道網走市生まれ。

北見北斗高校卒業。日本大学医学部医学科卒業。

2007年度「ミス日本」を受賞。

10代での自身の摂食障害と無月経の経験から産婦人科医を志す。

総合周産期母子医療センター勤務の後、現在は診療所で、外来診療や分娩、手術を担当する。

現役医師の立場から、テレビやラジオ、雑誌等メディアを通じ、さまざまな医療情報を発信。

## 第4回

小島  
慶子  
さん

1972年オーストラリア生まれ。1995年学習院大学法学部政治学科卒業後、TBSに入社。アナウンサーとしてテレビ、ラジオに出演する。1999年第36回ギャラクシーDJパーソナリティ賞受賞。2010年独立。執筆、メディア出演、講演など活動の幅を広げる。2014年~23年オーストラリアに教育移住。自身は10年間、日豪往復二拠点生活を送る。2015年~20年朝日新聞パブリックエディター。2017年~25年東京大学大学院客員研究員。2019年~昭和女子大学現代ビジネス研究所特別研究員。2024年より日本定住。

執筆・出演・講演などで、DE&Iに関する言論活動を積極的に行っている。メディアアリテラシー、ジェンダー、発達障害(ADHD)、グローバル教育、などをテーマに執筆・講演実績多数。

公式サイト<https://keiko-kojima.com/>。

## 第6回

杉村  
太蔵  
さん

1979年8月13日、北海道旭川市出身。

2005年9月第44回衆議院議員総選挙で最年少当選を果たし、厚生労働委員会、決算行政監視委員会に所属。労働問題を専門に、特にニート・フリーター問題など若年者雇用の環境改善に尽力。

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科後期博士課程 所定単位取得退学。現在、テレビ・ラジオ・雑誌などメディアで活動する一方、新規創業支援を中心とした新しいまちづくりを提唱し、2022年7月地元旭川市で「旭川はれて屋台村」を開業。

2024年6月より旭川平和通商店街振興組合理事長に就任。

趣味のテニスは、元国体で優勝したほどの腕前。私生活では三児の父。

## 第8回

原田  
マハ  
さん

1962年東京都生まれ。関西学院大学文学部日本文学科、早稲田大学第二文学部美術史科卒業。伊藤忠商事株式会社、森ビル森美術館設立準備室、ニューヨーク近代美術館への派遣を経て、2005年『カバーを待ちわびて』で第1回日本ラブストーリー大賞を受賞し、2006年作家デビュー。2012年『樂園のカンヴァス』で第25回山本周五郎賞を受賞。2017年『リーチ先生』で第36回新田次郎文学賞を受賞。2024年『板上に咲く』で泉鏡花文学賞を受賞。ほかの著作に『本日は、お日柄もよく』『たゆたえども沈まず』など多数。また、2019年には世界遺産・清水寺で開催された展覧会「CONTACT」の総合ディレクターを務め、美術館を訪ねる番組「原田マハのCONTACT ART」(WOWOW)にレギュラー出演するなど、日本・世界各地のアートと美術館の支援を続けている。

## 第10回

やくみつ  
さん

【略歴】1959年3月12日生まれ。東京都出身。早稲田大学商学部卒業。同大学在学中、漫画研究会同人所属。1981年、「まんがタイム」誌にデビュー。1996年、文藝春秋漫画賞受賞。プロ野球を中心スポーツ、政治、時事ネタなどの4コマ漫画、イラストを手掛ける。

【新聞連載】「朝日新聞」、「日本農業新聞」、「毎日新聞」、「神奈川新聞」(4月~10月)、「しんぶん赤旗」日曜版

【雑誌連載】「週刊ポスト」、「週刊ベースボール」、月刊「相撲」など

【テレビ】テレビ朝日「クイズプレゼンバラエティーQさま!!」他多数

【CM】株式会社スヴェンソン、協和発酵バイオ株式会社

【趣味】古物百貨蒐集、ツアー旅行、トイレットペーパー包装紙研究

# 北海道文化塾募集要項

- 募集人数…定員になります。次第、締め切らせていただきます。
- 入塾資格…北海道に居住し、受講可能な方であれば年齢・性別・学歴・職業を問いません。(幼児・小学生・中学生を除く)
- 講演…10回開講(14:00~15:30)※単発受講は受け付けておりません。  
※毎回15:30終了予定ですが、サイン会等を実施する場合16:00頃終了となります。
- 期間…令和7年4月~11月まで
- 会場…カナモトホール(札幌市民ホール)[札幌市中央区北1条西1丁目]
- 入塾方法…電話またはホームページにて申し込み、お申し込みから1週間以内に受講料を納入下さい。ご入金確認後、受講カードを4月16日(水)必着で郵送いたします。
- 入塾料…1名あたり2,000円(消費税含)  
継続生は不要。
- 受講料…1名あたり21,000円(消費税含)※中途退塾による受講費用の返金は行いません。

受講番号を受けた後下記宛にご入金下さい

郵便局備え付けの払込取扱紙(青色)に緊急時の連絡先  
(TEL・E-mailアドレス等)をご記入の上、お振込みください。  
振込手数料は塾生のご負担となります。

最寄りの郵便局から 口座番号 (0)2730-4-62470  
郵便振替 加入者名 北海道放送

※個人情報の取り扱いについて  
今回いただきました個人情報は、「北海道文化塾」の受講申し込み受付・受講カード発行及び開催案内発送など、「北海道文化塾」関連のみに使用します。また、ご本人の同意を得ないで業務委託先以外の第三者に開示・提供することはありません。なお、開催案内ご不要の場合は事務局までご連絡ください。発送・案内を中止いたします。

HBC文化塾 事務局

札幌市中央区北1条西5丁目

申込専用

011-222-2650

申込受付時間

10:00~16:00(土・日・祝除く)

※4月21日(月)以降のお問合せ・お申込は HBC事業部 011-232-2315